第 2660 地区

Rotary Club of Osaka-Semba

UNITE FOR GOOD

OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

WEEKLY REPORT

大阪船場ロータリークラブ

設　立　昭和 63 年 (1988) 5 月 23 日
事務所　〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-5-12 心斎橋アーバンライフ907
TEL. (06) 6244 -1008　FAX. (06) 6244 -1010
WEB. http://sembarotary.club　E-mail : semba@cocoa.ocn.ne.jp
例　会　毎週月曜日・12 時 30 分・ホテル日航大阪　Tel. (06) 6244 -1111
会長　藤井 宏明　幹事　篠藤 敦子　会報広報委員長　中井 崇

四つのテスト／言行はこれに照してから　Ⅰ. 真実かどうか　Ⅱ. みんなに公平か　Ⅲ. 好意と友情を深めるか　Ⅳ. みんなの為になるかどうか

第1584回　例会　2025年（令和7年）8月18日

（会員増強・新クラブ結成推進月間）

本日のプログラム　（本日のプログレス　山川　良知　副SAA）

- **ロータリーソング**「奉仕の理想」
- **会長の時間**　**幹事報告**　**委員会報告**　**ニコニコ箱報告**　**出席報告**
- **卓　話**　「医療奉仕活動について」 澤田　宗久会員

前回（８月４日）例会記録

1. 来客紹介　平山　明彦　親睦委員

ゲスト：0名　地区外：0名　地区内:0名　合計　0名

- ・あの夏へ
- ・さとうきび畑
- ・さよならの夏

2. 8月お誕生月会員お祝い

伊藤　清一　会員　（8月　9日）
野田　寿美子　会員　（8月14日）
森田　真　会員　（8月15日）
林　拓　会員　（8月16日）
瀬島　京子　会員　（8月21日）
洪　理恵　会員　（8月24日）

3. 会長の時間　藤井　宏明　会長

皆さま、こんにちは。本日も大変暑い中、例会にご出席いただき、ありがとうございます。
先週7月28日は、初の試みの「合同例会」に多数ご参加いただきありがとうございました。吉川ガバナーの掲げられるキーワード、「温故創新」と「交流」についてご紹介があったと思います。今年度、様々な交流を深める機会が多くなると思いますので、プログラムへのご参加など、ご理解のほど宜しくお願い致します。

さて、今日はちょっと趣向を変えて「言葉」についてお話したいと思います。
『ロータリーの友』8 月号に掲載されている「ロータリーあるある相談室」のご紹介です。
「ロータリー用語が分かりにくい。カタカナが多すぎて頭に入ってこない！」 ――という、非常に正直な叫び。
私は思わず「それ、分かる！」と頷いてしまいました。たとえば、こんなフレーズが紹介されていました。
『私たちのビジョンは、グローバルにおけるイニシアチブをリードし、パートナーシップを強化することで、インクルーシブな成長を促進することです。次世代にインパクトを与えるためのレガシーを作り出すべく、サステナブルなソリューションを推進し、フロンティアを切り開いていきます。これにより、ロータリーのパブリックイメージの向上と会員のエクスペリエンス向上にリーチすることができます。』 ……皆さま、ついてこれましたか？私は途中から“サステナブルな眠気”に襲われました。
でも実はこれ、企業の経営理念やビジネスの現場、さらには若者の日常会話でもよくあることです。たとえば、ビジネスの世界では「アジェンダが未整理」「そのスキームは弱い」「エビデンスが足りない」「コミットが甘い」……聞こえは立派ですが、正直なところ、ワンチャン意味わからん（笑）という時もありますよね。一方、若者言葉も負けていません。「ガチすぎて草」「それ、エモい」「ワンチャンある？」「バグってる」……。 もう会話がポエムのようです（笑）
そして、ロータリーも独自の用語文化があります。
RI、SAA、PP（ポリオプラス）、DEI、クラブアセンブリー、メイキャップ、ロータリーエクスペリエンス、エレクト、ノミニー、デジグネート……。ここに「RYLA」「PETS」「ローターアクト」「公共イメージ」なんて出てくると、もう何がなにやら・・・・です。
でも本質を忘れてはいけません。言葉は道具です。本当に伝えたいことが“伝わる”ことが大事。
大切なのは、横文字を使うことではなく、「心が通うこと」だと、私は思います。
スマホやパソコン上のやり取りが増える中、リアルに会話しコミュニケーションをとる事こそ、その「道具である言葉」がより大切になると思います。だから、たとえ難しい言葉で語られても、私たちは「相手の思い」に耳を傾ける姿勢を持ちたい。 そして、自分が語るときは、できるだけ優しく・わかりやすく伝えたい。 それが、ロータリーの「奉仕」と「友情」に通じる在り方ではないでしょうか。
8月は「会員増強と新クラブ結成推進月間」です。
8月25日には、今年度第1回目の「一斉体験例会」を開催致します。新しい仲間が入ってくる中で、誰もが「安心して言葉を交わせる」クラブでありたいと思います。言葉は、つながりの最初の一歩。
でも同時に、誤解や距離の原因にもなるからこそ、笑いながら信頼しあえる関係を、今後も大切にしていきましょう。

4. <u>ニコニコ報告</u>　林　英彦 親睦委員

廣　会員・・・・本日は卓話です。よろしくお願いいたします。
瀬島　会員・・・・昨日は万博の「こども音楽会」で次女が合唱させて頂きました。万博には様々な機会を提供頂きありがたいです。
伊藤　会員・・・・今週77才の喜寿を迎えます。気持ちは60才だけれど、体力と記憶力は日々老化しています。歳をとりたくない‼
小山　会員・・・・昨日の千刈カンツリー倶楽部11番でホールワンをしました。20年ぶり3回目です。
中西、前川、原山、中井、小島、藤井、山川、岡野、中嶋、清水、俣野、岡本（真）、林（英）、中村、井澤、新川、北野、篠藤、岩崎、大島、林拓、天野、岡本茂、井上、大嶋、盆子原、澤田、洪、竹内、野田、松村、
　各会員・・・・大阪万博　黒字化へ一直線！ミャクミャクさまのご加護あり
伊藤、野田、森田、林拓、瀬島、洪、各会員・・・・8月誕生月
中村、岡野、澤田、森田、各会員・・・・8月創立記念日

5. <u>出席報告</u>　原山　歩 副SAA

会員総数 44名　出席率計算会員数 44名　出席会員数 40名（内オンライン2名）　出席率 91%
第1581回（7月7日） 修正出席率 98%

6. 職業奉仕卓話

◎ 「“挑戦”を支える仕事」 廣　勇貴 会員

こんにちは。本日は貴重な機会をいただき、ありがとうございます。

初めての卓話となりますので、今回は私自身の仕事についてお話をさせていただきたいと思います。

本日のテーマは、「挑戦を支える仕事」とさせていただきました。

正直なところ、すべてのお客様に胸を張って“支えている”と言い切れるほどではまだありません。

けれども、いつかその言葉が自然に言えるような会社に成長させたい、そんな想いを込めて、少し背伸びをしたタイトルを選ばせていただきました。

まずは、私の会社について簡単にご紹介させていただきます。

私が経営する株式会社 FUN TOMORROW は、Web マーケティングとクリエイティブ制作を通じて、企業や事業主の挑戦を支援する会社です。社名には、「明日を楽しくする想像を、創造する」という想いを込めています。お客様の“想い”や“イメージ”を、人に伝わる“かたち”に変えることで、関わるすべての人が“明日が楽しみになる”ような仕事をしよう。そんな想いをミッションに掲げています。次に、私たちがどのようなお仕事をしているかをご紹介します。

弊社では業種を問わず、さまざまなお悩みを抱えたお客様に対して Web マーケティングやクリエイティブのサービスを提供しています。たとえば「モノを売りたい」「サービスを始めたい」「もっと集客したい」「コストを抑えたい」といったご相談をよくいただきます。とくに中小企業の場合は、広報企画部やマーケティング部署がないことが多く、経営者自らがその役割を担っていることが多く、こうした課題に対し、私たちは“伝える力”でお応えしていくのが仕事です。Web マーケティングと一口にいっても、実はさまざまな工程があります。まずは、お客様の強みや市場の動向を把握するリサーチ・分析から始まり、次に、その情報をもとに戦略を練る戦略策定、必要に応じて、ホームページや LP、EC サイトなどの制作を行い、それらを活用して広告や SNS を通じて発信し、最後に、その施策が成果につながっているかを見ながら運用・改善を行います。このように、マーケティング活動は段階的に進みますが、弊社では、①から⑤すべてを一貫してサポートすることもできますし、「制作だけ」「発信だけ」といった一部だけのご依頼にも柔軟に対応しています。

一部事例をご紹介いたします。

例えば、ソファーメーカーさんの場合は BtoB から DtoC に切り替えるために、リサーチ・分析、戦略策定した上で、コーポレートサイトの作成、EC サイトの作成、広告などに使用するプロモーション動画の作成、製品カタログ、営業資料、SNS や Web 広告の運用まで、制作に関わる企画、撮影まで一気通貫で提供しています。例えば本業の製造業以外で立ち上げられたサービスの、Web マーケティングや展示会出店のお手伝いなど、BtoB のご依頼もあります。また、物販のお客様の場合は例えば自社の EC サイトを立ち上げた後、売上拡大のために楽天・Yahoo などの EC モールの出店や、コストダウンのためにロジの連携なども行っています。このような形で、BtoB の会社、BtoC の会社を問わず、様々な経営課題を支える仕事をしています。

さて、本日は職奉卓話ということで、社会奉仕についてもお話しさせていただきます。

私の根底にあるのが、「熱意は人の心を突き動かし、成長と豊かさをもたらす」という考えです。私の仕事が「奉仕」と言えるかは分かりませんが、“仕事を通じて社会にどう貢献したいか”という視点で、今取り組んでいることが 2 つあります。

1 つ目は、「熱意ある経営者を支えること」です。私自身、これまでの仕事を通じてたくさんのことを学び、人生そのものが豊かになったと感じています。大人になってからの成長は、どれだけ仕事に熱意を持てるかで決まるのではないか？

そんなことを、私は経営者の方々から教えていただきました。もともとは一人のデザイナーだった私も、多くの経営者の熱意に触れ、背中を押してもらうことで、今では仲間や家族を支えられるような存在へと、少しずつ成長できたと思っています。私は、熱い想いを持って事業に取り組む経営者こそ、社会にとってのヒーローだと考えています。

もちろん、ご本人たちはそんなふうに思っていないかもしれません。でも、ヒーローというのは「自分が信じることを、自分の責任で貫く人」だと思うのです。そんな経営者の想いや情熱から生まれたサービスや商品を、“伝わるかたち”に変えること。それが私の役割であり、使命だと考えています。伝えることで事業が育ち、そこに関わる従業員や顧客、取引先に新たな価値や喜びが生まれ

る。そうして心が豊かになる人が少しずつ増えていけば、その「豊かさ」や「熱意」は、やがて次の世代、つまり、子どもたちの未来にもきっと受け継がれていく。私はそう信じて、この仕事に取り組んでいます。

２つ目は、「仲間を育てること」です。

私一人ではサポートできる経営者の数に限りがあります。だからこそ、“情熱は誰かのために”という想いを持つ仲間を増やすことにも取り組んでいます。単に業務をこなす従業員ではなく、お客様との感動や情熱を共にしながら、その“熱”をバトンのようにつないでいける仲間です。

少しずつですが、そんな仲間が増えてきたことが、今の私の大きな喜びのひとつでもあります。

この「熱意を支えること」と「仲間を育てること」という２つの思いを、この大阪船場ロータリークラブの先輩ロータリアンからも体感させていただく機会がありました。それは、中村一会員から、 陸上の第一線でご活躍された御子息が新たに立ち上げられるサービスの Web サイト制作をご依頼いただいたときのことです。私にとっても、また従業員にとっても、先輩ロータリアンからのご依頼ということで大変身の引き締まる想いで臨みました。ですが、初回の打ち合わせ当日、中村会員がわざわざお出迎えくださり、資料も完璧にご準備いただいていて、撮影の日には、自らが早朝の暑さの中、何本も何本も全力で走ってくださるなど、その本気の姿勢と情熱に、私もスタッフも、ブレーンのカメラマンも胸を打たれました。その姿はまさに“熱意のバトン”だったのだと、後から気づきました。仕事を任されたのは私たちですが、逆に多くの感謝の言葉をいただきました。なかでも特に心に残っているのが、「廣さんの熱意が息子にも伝わって、こんな経験をさせてやれたことが何より嬉しい」という言葉です。ですが、私たちの熱意だけではなく、中村会員の想いがしっかりと御子息に受け継がれていたのだと感じています。初めての仕事、ハードなスケジュールの中、全力で取り組まれていることが、その証だと思います。 そして、その姿を見た弊社スタッフたちも「こういう熱い仕事を増やしたい」と言い、仕事への情熱がさらに強くなりました。この経験を通じて、私が目指す「熱意は人の心を突き動かし、成長と豊かさをもたらす」という社会貢献のかたちを、実際に体験させていただけたと感じています。

最後になりますが、まだ入会から１年も経たない私が、このようなかけがえのない経験をロータリーを通じていただけたことに、心から感謝しております。 ご清聴いただきありがとうございました。

◎ 「アパレルについて」 前川 一成 会員

みなさんこんにちは。

私は ROSTER には「衣類小売り」と記載されています。そして伊藤様は「ワーキングウェアー製造卸」、岡本真太郎様は「婦人服販売」、瀬島様は「アパレル Order Suits」と記載されており、倉咲様は「アパレル」と記載されています。大阪船場ロータリークラブには、アパレル業界でお仕事をされている方が、私も含めて5名もいらっしゃいます。そんな中、末席の私が「職業奉仕卓話」で業界の話を行うなど恐れ多いのですが、最後までお付き合いいただけますよう、何卒よろしくお願い致します。

アパレルの中でも、私と伊藤様の会社は同業界と言える近しい関係であります。

アパレル業界の中のユニフォーム業界というのが、我々の業界になります。

伊藤様はメーカーで、弊社は伊藤様の会社から商品供給を受け、エンドユーザーへ販売を行う小売業として存在しています。

そのため、入会の際に「アイトス株式会社の会長と小売の社長が同じ土俵でいいのか？」と非常に悩みましたが、伊藤様から「そんなの気にしなくていいよ！待ってるから！」とおっしゃっていただき、松村様へお断りする手段がなくなり~~しぶしぶ~~入会させていただきました。今となっては、伊藤様・松村様には感謝しかありません。

さて、大まかな商流としては、海外工場 → 商社 → メーカー → 小売 → エンドユーザーという流れです。

また、弊社では商社・メーカー・小売までを一貫して行う事業もあります。

そのため、見方次第では伊藤様の会社と競合関係にあるとも言えなくもありませんが、伊藤様の会社は ROSTER では「ワーキングウェアー製造卸」とあり、弊社は同じワーキングでも、さらにニッチな「食品工場用」に特化し、商社・メーカー・小売までを行っております。小売業 ＋DtoC が弊社の構成となっています。

次に市場規模ですが、2020 年 1 月 15 日に国内で初めてコロナ感染者が見つかったことを考えると、2019 年をベンチマークとした場合、あれだけ世間を騒がせたコロナ禍でも、ユニフォーム業界の下げ幅は約 1%。
2020 年と 2021 年を比較しても、下げ幅は 1.9%となっております。
当然、沈んだ会社もあり、伸びた会社もありますので、すべての会社が助かったわけではありませんが、同業の一般アパレル業界と比べると、非常に助かった業界だと言えると思います。
会長や前会長からすると、とても羨ましいと思える業界ではないでしょうか？
次に、2023 年の市場規模の中身になりますが、ユニフォームと言いましても、様々な種類が存在しております。
シェアの大きな順に、ワーキング・学生服・医療介護・オフィス・接客サービス・食品白衣・飲食サービスなどがあり、上位 3 つで約 80%を占めています。弊社が DtoC で行っている食品白衣は、わずか 3.5%しかありません。

【アパレルが抱える問題】として、2 つご紹介させていただきます。

■ 労働環境問題と環境問題

アパレルは労働集約型産業の代表格で、「ミシン」「生地」「人」、この 3 点があれば稼働できるため、労働環境が良くないことは、イメージしやすいかと思います。
しかし、アパレルは労働環境問題だけでなく、地球規模の環境問題も抱えています。

※ ラナプラザの悲劇

ラナプラザとは、バングラデシュの首都ダッカにある 8 階建ての商業ビルです。
2013 年 4 月 24 日の朝 7 時頃、このビルが突如倒壊し、死者 1,138 人、負傷者 2,500 人以上という凄惨な結末を生みました。

- 事故の前日にはビルに亀裂が見つかり、使用中止の警告があったにもかかわらず、オーナーは営業を続けた。
- マネージャーは避難を求めた従業員に対し、解雇をちらつかせ脅していた。
- 上層階に違法増築された場所に設置された発電機の振動と、ミシンの振動が連動し、崩壊を引き起こした。

このような環境で、朝から夜中まで働き、平均月収は当時 **3,900 円**という状況でした。
「ミシン」「生地」「人」さえあれば稼働できる。労働集約型がコストを追求した結果といえるでしょう。

※ 水質汚染

綿花栽培や化学染料による河川汚染が問題です。
衣服を製造するには大量の水が必要で、世界の工業用水汚染の 20%が繊維の染色・処理に起因しています。
例えば 1 着の洋服を製造するのに **2,300L の水**を使用し、**25.5kg の CO2** を排出しています。
また、私たちが衣服を洗濯する際にも、**マイクロファイバーやマイクロプラスチック**が海洋に流出すると言われています。

※ ゴミ問題

年間で 1 人あたり約 12 枚の衣服が廃棄され、着られていない服が約 25 着あると言われています。
捨てられた洋服の 95%は、焼却・埋め立て処分されています。
その量は**年間 48 万トン**に上り、**大型トラック約 130 台分**を毎日焼却・埋め立てしている計算です。
アメリカでは、年間 1,150 万トンの繊維類が捨てられています（1 人あたり約 30.8kg）。
そのうち 145 万トンはリサイクル可能とされており、約 5,000 億米ドル以上の価値が失われていると言われています。
リサイクルが進まない要因の一つは、ペットボトルのように単一素材ではなく、服が**混紡生地・ファスナー・ボタン**など複雑な素材構成であるためです。

※ 大気汚染

化学繊維の製造には、大量の化学薬品や有害物質が使用され、それが大気中に放出されます。

石油由来の合成繊維による GHG 排出量は、**年間 12 億トンの CO2** に相当し、

これは世界の**国際航空業界と海運業界を合わせた排出量よりも多い**とされています。

※ アパレルのこれから

作業服を着用されている会社さんもいらっしゃると思いますが、使用後の作業服を**会社として回収していますか？**

実は、作業服は「**産業廃棄物**」に該当し、従業員が自宅で捨てることは NG です。

会社として適切に処分する必要があります。

販売先にこのことを伝えると、「御社で処理して欲しい」と言われることもありますが、費用をお伝えすると、「あー、じゃあいいわ」となることが多いです。一部上場企業は別として、中小零細企業は**環境問題よりコスト重視**というのが私の肌感覚です。

ユニフォームでもバージンポリエステルの方が安価で、リサイクルポリエステルは割高です。

環境に配慮するには、**今までかかっていなかったコストをかける必要**があります。

まずは従業員への賃上げが優先、という経営判断になる会社も多いでしょう。

（ちなみに、私の会社ではユニフォームを着用していないのですが…）

そんな中でも、礼節を知る会社として、**ユニクロ様やアイトス様**など、業界のリーディングカンパニーはすでに動き出しています。

※最後に動画を流しますので、ぜひご覧ください。

https://www.youtube.com/watch?v=KfANs2y_frk

洋服を着用するすべての方に、ぜひ見ていただきたい内容です。

8月理事会報告

令和7年8月4日（月） 於:ホテル日航大阪 13:40～14:40

【承認事項】

1、7月度会計報告 → 承認

2、前期 RI 人頭分担金支払 280,284 円 → 承認
会員数 44 名にて計算

3、事務局夏季休暇（8/12～14）→ 承認

4、9/1～入会希望者について（五味啓暁様）→ 承認

☆次回8月25日（月）例会予定

・体験例会

・会員懇談会 6階「橘の間」 13:40～14:40

・規定情報研修会打ち合わせ 6階「桃の間」 13:45～14:45

※例会場は32階「スカイテラス」です。